

## 小特集 スーフィズム・タリーカ・聖者信仰複合現象の解明に向けて

### はじめに

東長 靖\*

私たちは過去6年間にわたって、科学研究費基盤研究(A)(一般)「イスラーム神秘主義の構造的  
理解を目指して——スーフィズム・タリーカ・聖者信仰複合現象の解明」(研究代表者：東長靖、  
2016-2021年度、[JSPS 科研 JP16H01904])を遂行してきた。本小特集は、その研究成果の一部を公  
表するものである。

この共同研究の目的について、2015年に提出した研究計画調書では、次のように記している。

従来(1)スーフィズムは「イスラーム神秘主義」と訳され、(2)タリーカ(スーフィー教団)や  
(3)聖者信仰とアプリアリに結びつけて理解されてきた。研究代表者の東長と分担者の赤堀雅  
幸は、学際的研究グループを組織して、この問題に批判的に取り組み、(1)スーフィズムにつ  
いては「三極構造論」、(1+2+3)スーフィズム・タリーカ・聖者信仰全体については(4)「複合  
現象」という概念を提唱し、これによって知的ブレークスルーを果たしてきた。今回の研究プ  
ロジェクトでは、まだ分析枠組の構築に至っていない(2)タリーカと(3)聖者信仰について分  
析枠組を作り上げ、それをもとにして、(4)「複合現象」概念の精緻化を目指す。

この目的にしたがって、本共同研究は、3班9名の研究者が担うこととなった。

#### (1) スーフィズム班：

- ・東長靖(東アラブ・思想研究・近現代担当)
- ・中西竜也(中国・歴史学・前近代担当。ちなみに中国には二千万人を超すイスラーム教徒が  
居住し、スーフィズムを実践している)
- ・連携研究者：澤田真(東アラブ・思想研究・前近代担当)

#### (2) タリーカ班：

- ・丸山大介(東アラブ・人類学・近現代担当)
- ・二宮文子(南アジア・歴史学・前近代担当)
- ・連携研究者：高橋圭(東アラブ・歴史学・近現代担当)

#### (3) 聖者信仰班：

- ・赤堀雅幸(東アラブ・人類学・近現代担当)
- ・私市正年(北アフリカ・歴史学・前近代担当)
- ・連携研究者：安田慎(東アラブ・人類学・近現代担当)

この間、以下の一覧表に示すとおり、研究会を20回(うち5回はオンライン)、研究合宿を2回、  
共同現地調査を5回実施した。研究成果は、図書4点、学術誌における特集1点、国際会議におけ  
る発表12回として発表するとともに、社会還元にも務めてきた。研究分担者の各々が発表した論  
文はあまりに数が多いので、一覧表には記載しなかった(これについては、日本学術振興会のホー

---

\* 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科教授

ムページ<sup>1)</sup>をご参照いただきたい)。なお、一覧表をご覧いただくとお分かりのとおり、とくに国際会議の発表者に数多くの大学院生を含んでいる。これは、本科研が計画段階から次世代の育成を謳ってきたことの具体的な成果である。

本共同研究では、スーフイズム・タリーカ・聖者信仰という、これまで重なり合うものとして理解されてきた3つの対象をいったん解体し、それぞれがはらむ問題点を示したうえで、それを分析するためにはどのようにアプローチすればよいのかを考え、可能であればそれぞれを何らかの形で再概念化しようと努めてきた。

この問いに可能な限り答えるべく、本小特集は以下のように構成されている。まず、赤堀雅幸「イスラーム聖者信仰研究とその周辺——四つの対比から——」は聖者信仰研究を論じる。「聖者」という語が分析概念であることは明かだが、この概念のもつ問題点を「神と聖者」「預言者と聖者」「聖者と聖遺物」「聖者と恩寵」という「四つの対比」の観点に分け、それぞれに検討を加えたうえで、今後の研究の展望を示している。続く丸山大介「タリーカ研究の課題と方向性——実践コミュニティから見るスーフイズムと集団——」は、タリーカという概念の問題点を、「タリーカの代表性」「スーフィー教団、神秘主義教団という呼称」「タリーカの範囲」の順に検討したうえで、「実践コミュニティ」という概念を用いてタリーカ(やそれに類する集団・組織)を分析することを提唱している。最後の東長靖「スーフイズム理解の模索と展望——三極構造論と四象限論——」は、スーフイズム概念に関する問題点の指摘とそれに基づく「三極構造論」の提案(東長靖「スーフイズムの分析枠組」『アジア・アフリカ地域研究』第2号(2002年)、173-192頁)以来の理論的模索と現在の見通しを述べる。また、論文末尾においては、本科研の最終目標である「スーフイズム・タリーカ・聖者信仰複合現象」をどのようにとらえるべきかの展望を示した。

\*\*\*\*\*

## 2016年度～2021年度活動記録

### 研究会・研究合宿

#### 2016年度第1回研究会

【日時】2016年7月9日(土)15:30～17:30

【場所】上智大学四谷キャンパス第2号館6階2-603号室

【発表者・タイトル】

新井和広(慶應義塾大学)「アラビア半島とインドネシア間の、聖者を通じた関係の現在：2014～15年の聖者祭とマウリド月の観察から」

#### 2016年度第2回研究会

【日時】2016年10月2日14:00～17:00

【場所】上智大学四谷キャンパス2号館6階2-615(総合グローバル学部会議室)

【発表者・タイトル】

東長靖(京都大学)「スーフイズムの三極構造論—スーフイズムの立場から—」

赤堀雅幸(上智大学)「スーフイズム・聖者崇敬複合とスーフイズム三極複合論の民衆信仰軸」

丸山大介(防衛大学校)「スーフイズムの三極構造」再考—スーダンの事例から—」

1) <https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-16H01904/>

**2016 年度研究合宿**

【日時】2016 年 12 月 17、18 日

【場所】東洋大学熱海研修センター

【発表者・タイトル】

近藤文哉(上智大学)「エジプトのマウリドにおける砂糖菓子人形の研究とその課題」

松田和憲(京都大学)「19 世紀南アジアのスナ派における分裂と改革—シャー・ムハンマド・イスマール・イールの聖者崇敬批判とその影響」

丸山大介 文献発表①

*The Cambridge Companion to Sufism* 第 4 章 Morality in Early Sufi Literature

新井和広「ボスニアとサラエボの調査報告」

安田慎(帝京大学)『イスラミック・ツーリズムの勃興—宗教の観光資源化』

井上貴恵(東京大学) 文献発表②

*The Cambridge Companion to Sufism* 第 7 章 Sufism's Religion of Love, from Rābi'a to Ibn 'Arabi

**2017 年度第 1 回研究会**

【日時】2017 年 7 月 23 日(日) 12:30 ~18:15

【場所】京都大学 総合研究 2 号館 4F 会議室(AA447)

【発表者・タイトル】

石川喜堂(京都大学大学院)「アッタル『鳥の言葉』における詩的言語の解明—文学理論を枠組みとして用いて—」

池邊智基(京都大学大学院)「労働の教義と実践—セネガル・ムリッド教団の共同体バイファル—」

**2017 年度研究合宿**

【日時】2017 年 11 月 11 日(土) 13:30 ~12 日(日) 12:00

【場所】KKR 伊豆長岡千歳荘(伊豆長岡保養所)

【発表者・タイトル】

澤井真(京都大学・学振 PD)「イスラーム神秘思想の近代—ムハンマド・アブドゥッフの改革思想を中心に—」

高橋圭(上智大学・学振 RPD)「現代アメリカのスーフィズムとムスリム・コミュニティ—「伝統イスラーム」運動の隆盛とその背景」

小牧幸代(高崎経済大学)イタリア共同調査報告

高尾賢一郎(東京外国語大学・学振 PD) 文献発表①

J. S. Trimingham *The Sufism in Islam* “The Formation of Schools of Mysticism” (第 1 章)

藤井千晶(京都大学) 文献発表②

S. Trimingham *The Sufism in Islam* “The Chief Tariqa Lines” (第 2 章)

**2017 年度第 2 回研究会**

【日時】2017 年 12 月 23 日(土曜日) 13:00~17:00

【場所】京都大学吉田キャンパス総合研究 2 号館 4 階第 1 講義室(AA401)

【発表者・タイトル】

二宮文子(青山学院大学)「社会と理論が交差するとき：デリー・サルタナト前期におけるスーフィー教団の競合と師弟関係の理論」

東長靖「スーフィズムの三極構造再考」 澤井真「マーク・セジウィックによるスーフィズムの分析枠組みとしての“五極構造”についての情報提供」
<b>2018年度第1回研究会</b> 【日時】2018年4月15日(日)14:00~18:00 【場所】京都大学 総合研究2号館4階第1講義室(AA401) 【発表者・タイトル】 Ahmed Zildzic (Sarajevo University) “Ottoman Historiography in Persian with a Focus on Bahjatu-t-tevarih by Shukrullah” Roberto Tottoli (Universita degli Studi di Napoli L’Orientale) “Europe and Islam: The Arabic Text of Qur’an in History and Polemics in the 16th and 17th Century”
<b>2018年度第2回研究会</b> 【日時】2018年5月15日(火) 【場所】京都大学総合研究2号館4階第1講義室(AA401) 【発表者・タイトル】 Sajjad Rizvi (University of Exeter) “The Mysticism Debate in Modern Iran: Sufism, Irfan and the Shii Seminary”
<b>2018年度第3回研究会</b> 【日時】2018年12月6日(木)15:00~17:00 【場所】京都大学 総合研究2号館4階第1講義室(AA401) 【発表者・タイトル】 Nile Green (University of California, Los Angeles) “From Sufi Establishment to Salafi Reform: Reflections on Writing a History of Sufism”
<b>2018年度第4回研究会</b> 【日時】2018年12月11日(火)16:00~18:00 【場所】京都大学 総合研究2号館4階第1講義室(AA401) 【発表者・タイトル】 Shahzad Bashir (Brown University) “Journeys Among the Living Dead of Tabriz: A Sufi Shrine Guide from the Sixteenth Century”
<b>2018年度第5回研究会</b> 【日時】2019年3月13日(水)15:00~18:00 【場所】京都大学吉田キャンパス本部構内総合研究2号館4階会議室(AA447) 【発表者・タイトル】 Carl ERNST (University of North Carolina) “Poetry, Scripted Meditation, and Creation Narrative : Sufi Additions to the Yoga Practices in The Ocean of Life.” Fabrizio SPEZIALE (École des hautes études en sciences sociales) ”Yogis, Persianate alchemy and medicine in South Asia” Somdev VASUDEVA (Kyoto University) “Systems of Wheels (cakra), Lotuses (padma) and Circles (maṇḍalas) in Esoteric Śaiva and Śākta Yoga”

**2018 年度第 6 回研究会**

【日時】 2019 年 3 月 17 日 (日) 13:00~18:00

【場所】 上智大学四谷キャンパス 2 号館 6 階 2-603 (総合グローバル学部会議室)

【発表者・タイトル】

丸山大介: 趣旨説明—タリーカ論構築に向けた覚え書き—

井上貴恵 (お茶の水女子大学) 「スーフィー教団における教義の継承—霊的継承者の役割について」

今松泰 (京都大学) 「オスマン朝下のタリーカ」

中西竜也 (京都大学) 「中国のタリーカ概念」

高橋圭 (上智大学) 「近現代における「教団」としてのタリーカ—民衆性・社会性に注目しながら—」

丸山大介 「スーダンにおけるタリーカ概念」

**2019 年度第 1 回研究会**

【日時】 2019 年 7 月 7 日 (日) 13:30~17:30

【場所】 上智大学四谷キャンパス 2 号館 6 階 2-603 (総合グローバル学部会議室)

【発表者・タイトル】

私市正年 (順天堂大学) 「イスラーム聖者の概念の多様性と展開: マグリブ史の文脈から」

赤堀雅幸 「イスラーム聖者崇敬研究の目配りと見通し」

小牧幸代 「イスラームにおける聖遺物崇敬研究の理論化に向けて」

藤原久仁子 (甲子園大学) 「カトリックにおける聖人崇敬研究の射程」

**2019 年度第 2 回研究会**

【日時】 2019 年 7 月 28 日 (日) 14:00~18:00

【場所】 上智大学四谷キャンパス 2 号館 6 階 2-603 (総合グローバル学部会議室)

【発表者・タイトル】

池邊智基 + 末野孝典 「セネガルにおけるスーフイズム・タリーカ・聖者信仰に関する概況」

池邊智基 「ムリッド教団の信徒による「献金 addiya」をめぐる推論過程—托鉢と説教の場に着目して—」

末野孝典 「イブン・アジーバの存在一性論理解—カブダの語に着目して—」

**2019 年度第 3 回研究会**

【日時】 2019 年 9 月 25 日 (水) 15:00~17:00

【場所】 京都大学総合研究 4 号館 1 階セミナー室

【発表者・タイトル】

Florian Sobieroj (Institut für Orientalistik, Indogermanistik, Ur- und Frühgeschichtlicher Archäologie, Friedrich-Schiller-Universität Jena) “Transmission of Spiritual Knowledge from Arabia to Northwest China: Ma Laichi Abu al-Futuh al-Sini and his Huasi Menhuan Sufi Order

**2019 年度第 4 回研究会**

【日時】 2019 年 10 月 28 日 (月) 17:00~18:00

【場所】 京都大学総合研究 2 号館 4 階第 1 講義室 (AA401)

【発表者・タイトル】

TONAGA Yasushi (Kyoto University) “Middle Eastern and Islamic Studies in Japan”

Ondrej BERANEK (Czech Academy of Sciences) “Middle Eastern Studies in the Czech Republic”

<p><b>2020年度第1回研究会</b></p> <p>【日時】2020年10月31日(土)13:00~16:00</p> <p>オンライン</p> <p>【発表者・タイトル】</p> <p>澤井真(天理大学)「イスラームの神秘主義研究における人間探究」</p> <p>二宮文子「文化資本概念を用いたタリーカ分析」</p> <p>安田慎(高崎経済大学)「消費される聖者—観光のなかの巡礼・参詣を考える」</p>
<p><b>2020年度第2回研究会</b></p> <p>【日時】2020年12月20日(日)</p> <p>オンライン</p> <p>【発表者・タイトル】</p> <p>中西竜也「スーフィズムの三極構造の精緻化に関する幾らかの提案—中国ムスリムからの眺望」</p> <p>東長靖「スーフィズムの3次元説」</p>
<p><b>2020年度第3回研究会</b></p> <p>【日時】2021年1月11日(月)18:00~19:15</p> <p>オンライン</p> <p>【発表者・タイトル】</p> <p>山口匠(東京大学大学院/在モロッコ日本国大使館)「現代モロッコにおけるスーフィー的なものをめぐる組織論的試論—メクネス周辺の『スーフィー・シーン』を事例として」</p>
<p><b>2020年度第4回研究会</b></p> <p>【日時】2021年1月18日(月)10:30~12:00</p> <p>オンライン</p> <p>主題: イスラームおよびキリスト教の聖者崇敬・聖遺物信仰研究の方向性についての自由討論</p> <p>出席: 赤堀雅幸、新井和広、私市正年、小牧幸代、寺田勇文(上智大学名誉教授)、藤原久仁子、二ツ山達朗(香川大学)、三代川寛子(東京外国語大学)、安田慎</p>
<p><b>2021年度第1回研究会</b></p> <p>【日時】2021年5月22日(土)9:30~12:50</p> <p>オンライン</p> <p>【発表者・タイトル】</p> <p>鈴木麻菜美(京都大学)「イスラームの音楽に見る聖者の姿—アレヴィー儀礼の『嘆き』におけるイマーム・ヒュセイン観」</p> <p>本間流星(京都大学大学院)「南アジアにおけるイブン・アラビー学派解明の試み—アシュラフ・アリー・ターナヴィーの位置付けをめぐる考察」</p>
<p><b>2021年度第2回研究会</b></p> <p>【日時】2022年1月21日(金)13:00~16:00</p> <p>【場所】上智大学2号館6階 2-615a</p> <p>【発表者・タイトル】</p> <p>東長靖「スーフィズム理解の模索と展望」</p> <p>丸山大介「タリーカ概念の問題点とタリーカ研究の見通し」</p> <p>赤堀雅幸「イスラーム聖者信仰研究とその周辺」</p>

## 現地共同調査

ボスニア・ヘルツェゴビナ 【日程】 2016年8月19日～27日
ローマ・アッシジ 【日程】 2017年8月5日～15日
スペイン 【日程】 2018年7月16日～24日
フィリピン 【日程】 2019年度8月15日～22日
セネガル 【日程】 2019年8月30日～9月8日

## 国際発信

<p><b>The 11th International Conference of Asian Federation of Middle East Studies' Associations "World New Trends in the 21th Century and Middle East"</b>                  【日時】 2016年9月23・24日                  【場所】 Ulaanbaatar Hotel, Mongolia                  【発表者・タイトル】 (本科研に関わりのあるもののみを抜粋)                  TONAGA Yasushi (Kyoto University) "Towards the Asian Network of Sufi Studies: From the Japanese Experience"                  YAMAMOTO Naoki (Kyoto University) "Ibrāhīm al-Kūrānī on Walī and Ecstatic Utterance (Shāḥ): Explaining "Orthodox" Ṭasawwuf to Javanese Disciples"</p>
<p><b>The Bridge of Two Easts: Education Program for Sufi Culture: Opening Symposium</b>                  【日時】 2016年10月22日                  【場所】 Nermin Tarhan Conference Hall, Uskudar University                  【発表者・タイトル】                  TONAGA Yasushi, "Past, Present and Future of Sufi Studies in Japan: Three-Axis Framework of Sufism and Interdisciplinary Approach"                  AKAHORI Masayuki, "An Anthropological Understanding of the Three-Axis Framework of Sufism: A Comparison to Shintoism, Japan's Traditional Religion"                  MARUYAMA Daisuke, "The Interpretations of Sufism in Sudanese Tariqas: From the Perspective of 'Three-Axis Framework of Sufism'"                  Mahmud Erol KILIC (Marmara University), "Thoughts and Evaluation in the Context of the Project"                  Osman Nuri KÜÇÜK (Üsküdar University), "Place of Tasavvuf in Islamic Thought: Definitions by Early Sufis"                  Ahmet Murat ÖZEL (Yalova University), "A Finger Cut by Haqiqa Does not Hurt: Main Axis of Critiques towards Sufis Based on Early Classical Sufi Works"</p>
<p><b>International Symposium: Islamic Studies and the Study of Sufism in Academia: Rethinking Methodologies</b>                  【日時】 2017年5月20・21日</p>

【場所】 京都大学稲盛財団記念館 3階大会議室

【プログラム】

5月20日

**Opening Session:**

KOSUGI Yasushi (Former Dean of ASAFAS and Director of the Center for Hadhari Islamic Civilizational Studies at Kyoto University)

TONAGA Yasushi (Director of the Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University)

Cemalnur SARGUT (Founder of Kerim Foundation, Advisor to Üsküdar University Chancellor and Director of TÜRKKAD İstanbul Branch)

Mehmet KÖSE (President of Turkish Republic Prime Ministry the Presidency for Turks Abroad and Related Communities)

A. Bülent MERİÇ (Turkish Ambassador)

**Keynote Speech**

Keynote Speech I: TONAGA Yasushi, KOSUGI Yasushi (15 min. each)

Keynote Speech II: TU Weiming and Mahmud Erol KILIÇ (20 min. each)

**Session 1**

1. Carl ERNST [chair] “Orientalist Legacies and the Academic Construction of Sufism”
2. MURATA Sachiko “Sufism in Chinese”
3. Osman Nuri KÜÇÜK “The Epistemological Problem of the Contemporary Islamic Thought: Loosing Hikma (Wisdom)”
4. TONAGA Yasushi “General Tendency of Islamic and Sufi Studies in Japan”

**Session 2**

1. Omid SAFI [chair] “Mawlana, Mevlana, Rumi”
2. TAKAO Ken'ichiro “Sufism under Syrian Ba'th: Ahmad Kuftaru and His Tariqah”
3. Bruce LAWRENCE “Is Adab Axial or Incremental to madhhab-i'ishq (Sufism)?”
4. William CHITTICK “Moses in the Religion of Love”

**Closing Conference of the Project of the Bridge of Two Easts Education Program for Sufi Culture**

Cangüzel Güner Zülfikar [chair] (20min.) “Searching New Horizons in Methodology of Sufi Studies”

Participants of the Program (15 min. each):

1. Kotoko MADONO
2. Qayyim Mashuk Naoki YAMAMOTO
3. Kie INOUE
4. Kazunori MATSUDA
5. Makoto SAWAI

5月21日

**Session 3**

1. NAKANISHI Tatsuya “Ma Dexin and Ibn ‘Arabī’s Theories Regarding the Afterlife: A Chinese Expression of Sufism during the 19th Century”



2. Ahmet Murat ÖZEL “Reading the History of Sufism from the View of the Classification of ‘Ilms [Science]”
3. Juliane HAMMER “Studying American Sufism: A Reflection on Boundaries, Authenticity, and Politics”
4. James MORRIS [chair] “Teaching “Sufi” Studies in Undergraduate Settings: Religious Studies and the Liberal Arts”

#### **Session 4**

1. MORIMOTO Kazuo [chair] “Sayyido-Sharifology Twelve Years Later”
2. TAKAHASHI Kei “The Institutional Origin of the Ulama-Sufi Dichotomy in Modern Egypt”
3. NINOMIYA Ayako “Concepts of Affiliation and Membership of Tariqa: Medieval India’s Case”
4. OGURA Satoshi “Indic Deities Translated by Means of the Oneness of Existence: in the Case of Muḥammad Šāhābādī’s Persian Translation of the Rājatarāṅgiṅīs”

#### **Session 5**

1. MARUYAMA Daisuke “Mystic, Miracle, and Mediation: The Interpretation of the Relation between Allah and People in Contemporary Sudanese Sufi Tariqas”
2. YASUDA Shin “Islamic Hospitality in Adab Literature (temporary)”
3. ARAI Kazuhiro [chair] “Saint Veneration in Indonesia and the Emergence of Hadrami Sada: Shaping Historical Perception by Using the Current Situation?”
4. WAZAKI Seika “Searching for “our Islam”: Sufism, Tariqa and the Government Policies towards Islam in Post-Soviet Central Asia”

#### **Session 6**

1. miriam cooke “Framing the Lives of Female Sufi Saints”
2. YAMANE So “Dual Trends of Sufi Poetry in South Asia”
3. Emine YENITERZI “Significance of Literature in Sufi Education”
4. Cemil AYDIN [chair] “Islamic Studies, Geopolitics, and Racialization of Muslims: Lessons from the 20th Century”

#### **Concluding Session**

Cemâlnur SARGUT [chair]

TONAGA Yasushi

AKAHORI Masayuki

William CHITTICK

Carl ERNST

Mahmud Erol KILIÇ

#### **SIAS/KIAS-CNRS Joint Seminar 2018 “Holy Relics and Religious Commodities in Islam + Other Related Subjects Including Graduate Student Presentations”**

【日時】 2018年1月21・22日

【場所】 東洋大学 熱海研修センター

【プログラム】

**Opening Remarks:** TONAGA Yasushi (KIAS, Kyoto University)

**Part 1: Holy Relics and Religious Commodities in Islam + Related Subjects**

Pierre-Jean LUIZARD (EPHE-CNRS GSRL) “Damascus and Cairo: Two Heads of Hussein for Two Kinds of Worship”

KONDO Fumiya (Ph.D. student, SGPAS, Sophia University) “Mawlid Dolls of Egypt in Terms of “Religious Commodities”: A Preliminary Study”

Thierry ZARCON (EPHE-CNRS GSRL) “Qadamgah and Mausoleums Associated with Relics of Imam Ali ibn Abu Talib in the Indo-Turko-Persian Area”

NINOMIYA Ayako (Aoyama Gakuin University) “Qadam-i Sharif, Mecca and Delhi: Story of a Sufi and Footprints of the Prophet Muhammad in Medieval India”

Alexandre PAPAS (CNRS-CETOBAC) “Kashkul: Practical Uses and Doctrinal Meanings of a Sufi Relic”

TAKAHASHI Kei (JSPS Research Fellow-RPD) “Sufism without Tariqa: The Emergence of Muslim Third Places in the Contemporary American Muslim Community”

#### **Part 2: Graduate Student Presentations 1**

ISHIKAWA Kido (Ph.D. student, ASAFAS, Kyoto University) “The Mode of Expression of the Love in the Works of Baba Tahir”

SUENO Takanori (Ph.D. student, ASAFAS, Kyoto University) “Ibrahim Niyas’s on Sufism: From a Perspective as a Shari’a Oriented Sufi”

#### **Part 3: Graduate Student Presentations 2**

YAMAZAKI Satoru (Ph.D. student, ASAFAS, Kyoto University) “Syrian Civil War, Sectarianism, and the Turkish Arab ‘Alawis’ Struggle for Recognition”

Kamnoush KHOSROVANI (Ph.D. student, EPHE-CNRS GSRL) “On the Path of an Exuberant Sufi Practice: An Anthropological Study of the Contemporary Female Qaderi Groups in Tehran”

#### **Part 4: Holy Relics and Religious Commodities in Islam + Related Subjects 2**

FUTATSUYAMA Tatsuro (Research Associate of the NIHU/KIAS, Kyoto University) “Qur’anic Interior Ornaments in Ordinary Muslims’ Space: From the Case of South Tunisia”

YASUDA Shin (Teikyo University) “Commodifying Religious Experiences: Islamic Tour Operators and Religious Markets in Indonesia”

**General Comments:** Pierre-Jean LUIZARD, Alexandre PAPAS, and Thierry ZARCON

**Closing Remarks:** AKAHORI Masayuki (SIAS, Sophia University)

#### **KIAS-IMS Seventh Joint Seminar “Exploring Culture and Politics in the Mediterranean World”**

【日時】 2018年2月24日(土) 14:30~18:15

【場所】 京都大学吉田キャンパス総合2号館4階会議室(AA447)

【プログラム】

#### **Opening Session**

Chair: FUTATSUYAMA Tatsuro (Visiting Associate Professor, Graduate School of Asian and African Area Studies)

TONAGA Yasushi (Director, Center for Islamic Area Studies, Professor, Graduate School of Asian and African Area Studies) “Welcome Speech”

Yong Soo YOON (Director, Institute for Mediterranean Studies) “Greeting Speech”

#### **Session 1**

Chair: Byoung Joo HAH (Professor, Institute for Mediterranean Studies, Busan University of Foreign Studies)

YAMAMOTO Naoki (Ph.D. Candidate, Graduate School of Asian and Area Studies) “Sharia/Haqiqa Dichotomy among Sufis and Kadizadelis during Ottoman Period”

Yong Soo YOON (Director, Institute for Mediterranean Studies) & Jung Ha KIM (Professor, Institute for Mediterranean Studies, Busan University of Foreign Studies) “Types of Cultural Exchange in the Mediterraneanistic Multiculturalism”

#### Session 2

Chair: Choonsik CHOI (Professor, Institute for Mediterranean Studies, Busan University of Foreign Studies)

Ji Hun KANG (Research Professor, Institute for Mediterranean Studies, Busan University of Foreign Studies) “A Study on Information Technology Utilization for Education of Overseas Area Culture”

OKABE Yuki (Graduate Student, Graduate School of Asian and Area Studies) “Reconsidering Power Sharing Regimes and Civil Wars in Lebanon and Syria”

Sang Ho MOON (Professor, Dept. of Computer Engineering, Busan University of Foreign Studies) & Dong Yeol LEE (Research Professor, Institute for Mediterranean Studies, Busan University of Foreign Studies) “GIS based Israeli-Palestinian Conflict Analysis”

#### Closing Session

Chair: TONAGA Yasushi (Director, Center for Islamic Area Studies, Professor, Graduate School of Asian and African Area Studies)

KOSUGI Yasushi (Director, Hadhari Center for Islamic Civilizational Studies, Kyoto University; Professor, Graduate School of Asian and African Area Studies) “Closing Remarks”

#### Fifth World Congress for Middle Eastern Studies: WOCMES-5)

【日時】 2018年7月18日～20日

【場所】 セヴィリア (スペイン)

【発表者・タイトル】

7月18日

#### PA-135 “Rethinking the Relationship between Batin and Zahir: From the Perspective of Sufism and Fiqh”

MARUYAMA Daisuke “The Connotation of Batin and Zahir in the Context of Sufism: A Case Study of Contemporary Sudan”

INOUE Kie “The Understanding of Zahir in Iranian Sufism”

#### PA-174. “Reframing the Past: Gender Questions and Islamic Traditions in the Modern Era”

TAKAHASHI Kei “Between Norm and Practice: Neo-Traditionalist Discourses on Gender in the United States”

SAWAI Makoto “The Disappearance between Man and Woman: The Sufi View on Human Existence”

#### PA-187 “Religious Practices Using Commodities in Consumer Societies”

FUTATSUYAMA Tatsuro “Qur’anic Commodities in Ordinary Muslims’ Space: Focusing on Interior Ornaments and Calenders in Tunisia”

KOMAKI Sachiyo “The Cult of Islamic Relics and the Religious Goods in Contemporary India”

7月19日

**PA-241 “Visits to Sainly Places in the Age of Globalization”**

TONAGA Yasushi “Theoretical Basis for the Visit to the Saints’ Places in the Islamic Thought”

YASUDA Shin “Remembrance at Holy Places: Religious Capital and Shi’ite Religious Places in Syria in the Era of Crisis”

7月20日

**PA-339 “A Reconsideration of Public Spheres from a Grass-root Perspective—Historical and Contemporary Approaches”**

KISAICHI Masatoshi “The Zawiya as an Ahylum in Medieval Magherb – A Reconsideration of the Public Sphere within an Islamic”

**SIAS/KIAS-CNRS Joint Seminar 2019 “Sufism, Sufi Orders and Saints from the Middle East to Asia”**

【日時】 2019年3月2日(土)9:30~17:00

【場所】 Amphi 3, Institut national des langues et civilisations orientales INALCO, Paris

【プログラム】

**Opening:**

TONAGA Yasushi (ASAFAS, Kyoto University) and Pierre-Jean LUIZARD (CNRS-GSRL/EPHE-PSL)

**1. Sufi Orders in the Indian Subcontinent (Chair: TONAGA Y.)**

NINOMIYA Ayako (Aoyama Gakuin University), *Tension, Emotion and Devotion: Master-Disciple Relationships and Consolidation of Medieval India*

Discussant: Alexandre PAPAS (CNRS-CETOBAC/EHESS-PSL)

Muhammad TOUSEEF (Doctorant EPHE/EHESS), *The Sufi Ritual of Sama` : A New Perspective by the Chishti Master Khwaja `Ubaydullah Multani (d. 1888)*

Discussant: NINOMIYA Ayako

**2. Sufism and Reformism (Chair: NINOMIYA A.)**

YAMAZAKI Satoru (Doctorant Kyoto University), *Between Secrecy and Orthodoxy: Tradition and Reform among Contemporary `Alawis*

Discussant: Thierry ZARCONÉ

Ayse AKYÜREK (Doctorant EPHE), *The Reinventions of the Mevlevi Sema from 1954 to the Present Day*

Discussant: TONAGA Yasushi

**3. Saint Veneration in Turkey and in the Middle East (Chair: A. PAPAS)**

Samuel VERLEY (Masterant EHESS), *al-Khidr in the Turkish Alawi Cult of the Saints*

Discussant: TONAGA Yasushi

KONDO Fumiya (Doctorant Sophia University), *The Mawlid of Abu al-Hajjaj and Other Mawlid: A Comparative Analysis*

Discussant: Pierre-Jean LUIZARD

MADONO Kotoko (Doctorant Kyoto University), *Niyazi-i Misri’s Time Theory Based on the Unity of Existence*

Discussant: Thierry ZARCONÉ

**General Remarks and Closing:**

NINOMIYA Ayako; Alexandre PAPAS; Thierry ZARCONÉ

**KU–UIN Joint Seminar “Wisdom of Coexistence in the Islamic Thought: Graduate Seminar on Sufism”**

【日時】 2020年2月17日(月) 10:00~17:30

【場所】 Theater, Universitas Islam Negeri Syarif Hidayatullah, Jakarta

【プログラム】

**Keynote Speech 1:** TONAGA Yasushi (Kyoto University) “Wisdom of Coexistence according to Sufism”

**Keynote Speech 2:** Oman FATHURAHMAN (Universitas Islam Negeri Syarif Hidayatullah) “Female Indonesian Sufis: Shattariyah Murids in the 18th and 19th Centuries in Java”

**SESSION 1 (Chair: FUTATSUYAMA Tatsuro)**

TANAHASHI Yukari (Kyoto University) “The Theological Thought of Muḥammad ibn Sulaymān al-Jazūlī”

Arif ZAMHARI (Universitas Islam Negeri Syarif Hidayatullah) “Innovation in Indonesia’s Sufi Tradition: Urban Majlis Zikir dan Salawat”

Bambang IRAWAN (Universitas Islam Negeri Syarif Hidayatullah) “Tasawuf and Radicalism”

**SESSION 2 (Chair: Agus RIFA’)**

Yoyo HAMBALI (Universitas Islam Negeri Syarif Hidayatullah) “Ibn ‘Arabi on Relation of Sshari’a and Haqiqah”

MATSUDA Kazunori (Kyoto University) “Sana’ullah Amritsari and his Urdu Proses”

M. NIDA (Universitas Islam Negeri Syarif Hidayatullah) “Kyai Hasan Maolani; Tarekat and Collonialism”

**2020年度第1回 SIAS/KIAS-CNRS Joint Seminar**

【日時】 2021年2月5日

オンライン

【発表者・タイトル】

Chair: AKAHORI Masayuki (Sophia University)

Opening Remarks: Thierry ZARCONI (CNRS-GSRL/EPHE-PSL)

Ayse AKYÜREK (CNRS-GSRL/EPHE-PSL) “A New Category of Tariqa in Turkey: The Case of Neo-Mevleviye”

TANAHASHI Yukari (Kyoto University) “Status of Saints: An Analysis of Muḥammad ibn Sulaymān al-Jazūlī’s Kitāb fī al-Zuhd”

Samuel VERLEY (CNRS-GSRL/EPHE-PSL) “The Hills of Khidr on the Black Sea (Turkey): Historical Perspectives on Rituals and Symbolism”

**2020年度第2回 SIAS/KIAS-CNRS Joint Seminar**

【日時】 2021年2月19日

オンライン

【発表者・タイトル】

Chair: Alexandre PAPAS (CNRS-GSRL/EPHE-PSL)

HOMMA Ryusei (Kyoto University) “Ashraf ‘Alī Thānavī and Sufism in Colonial South Asia”

Muhammad TOUSEEF (CNRS-GSRL/EPHE-PSL) “Sufi Ritual of Bay’a at the Dargah of Chishtiyya ‘Ubaydiyya Silsila in Multan, Pakistan”

HARA Rikuro (Kyoto University) “Ḥanbalī School and Sufism: Ibn Qayyim al-Jawzīya’s Sufi Aspects” Closing Remarks: TONAGA Yasushi (Kyoto University)
<b>KIAS-IMS Joint Seminar</b> 【日時】 2021年8月24日 12:00-18:20 オンライン 【発表者・タイトル】 TONAGA Yasushi “Congratulatory Remarks” MADONO Kotoko “The Circular of Existence Reflected on Writings of the Akbarian Sufis in the Ottoman Empire” HARA Rikuro “Ibn Qayyim al-Jawziya’s Criticism toward Ibn al-‘Arif” TANAHASHI Yukari “An Attempt to Use Arabic OCR Process on Maghrebi Script”
<b>2022 AFOMEDI International Conference</b> 【日時】 2022年2月15日 オンライン 【プログラム】 <b>Opening Speech Tonaga Yasushi (President, AFOMEDI)</b> <b>Session 1 Chair: Tonaga Yasushi (Kyoto University)</b> M.H. Mozafari (Busan University of Foreign Studies) “Intellectual Interactions of the East and West of the Mediterranean Basin (Andalusian Interactions with al-Ghazali’s Thoughts)” Jihuan He (Kyoto University) “Islamic Pre-Revival in China: A Case Study of Ma Jian and His Works” Jisu Kim (BUFS) “Comparison of Research Tendency of Halal Studies between Korea and Abroad” Noriko Sato (Pukyong National University) “How Syriac immigrants impact Collective Memory of their Homeland” <b>Session 2 Chair: Sebastian Müller(BUFS)</b> Marzie Mozafari (BUFS) “Climate Change in Mediterranean Region” Manami Suzuki (Kyoto University) “Religious Music and Dance as Entertainment in Turkey” Hossein Ebrahimi (University of Tehran) “The impact of India Israel bilateral relations on Mediterranean region” JungHa Kim (BUFS) “A Paradigm Shift in Mediterranean Studies” <b>Session 3 Chair: Mona Farouk (BUFS)</b> DEFNE GONENC (Yasar University) “Indian Foreign Policy towards the East-Mediterranean in a Changing Regional Order” M.Gamal (Australian Federal Government) “Diplomatic Interpreting: Insights from ancient Alexandria” Tonaga Yasushi (Kyoto University) “Islamic Mysticism Reconsidered” <b>Closing Speech Moderator : Yang, Min Ji (BUFS), Yong Soo, Yoo (Director, IMS)</b>

社会還元・若手育成

<b>Special Lecture at Institute for Sufi Studies, Üsküdar University</b> 【日時】 2019年10月21日(月)
---

<p>【場所】 The University Senate Meeting Hall, Üsküdar University</p> <p>【発表者・タイトル】</p> <p>TONAGA Yasushi “Japanese Studies on Sufism”</p> <p>“Ethics and Mysticism in the Fanā’ Theory”</p> <p>“Taking-off Shoes: According to Abdullah Bosnevi”</p>
<p><b>Lecture at International Intensive Summer School of Sufi Studies, Institute for Sufi Studies at Üsküdar University, Turkey</b></p> <p>【日時】 2020年7月25日</p> <p>オンライン</p> <p>【発表者・タイトル】</p> <p>TONAGA Yasushi “Asian Perspective of Sufism: From <i>al-Mashriq al-Aqsa</i> to <i>al-Mashriq al-Adna</i>”</p>
<p><b>日本中東学会第26回公開講演会「人類共生と宗教」</b></p> <p>【日時】 2020年11月14日 13:00~16:45</p> <p>オンライン</p> <p>【発表者・タイトル】</p> <p>東長靖「愛と共生のイスラーム」</p>
<p><b>Lecture at International Intensive Summer School of Sufi Studies, Institute for Sufi Studies at Uskudar University, Turkey</b></p> <p>【日時】 2021年8月5日</p> <p>オンライン</p> <p>【発表者・タイトル】</p> <p>TONAGA Yasushi, “Three-dimension Theory of Sufism and Toshihiko Izutsu’s Understanding of Sufism”</p>
<p><b>Sophia Open Research Week 2021「今日のスーフィズム 神秘主義の諸相を知る」</b></p> <p>2021年11月12日 ウェブ公開</p> <p>東長靖「スーフィズムとは何か：神秘主義・道徳・民間信仰」</p> <p>2021年11月19日 ウェブ公開</p> <p>イディリス・ダニシマズ「神への愛のために被造物を助ける：スーフィズムにおける社会扶助の理念と実践」</p> <p>2021年11月26日 ウェブ公開</p> <p>藤井千晶「社会に息づくスーフィズム：東アフリカ沿岸部の事例から」</p> <p>2021年12月3日 ウェブ公開</p> <p>丸山大介「寛容と排他に揺れるスーフィズム：スーダンに見る政治との距離感」</p> <p>2021年12月10日 ウェブ公開</p> <p>二宮文子「インド共和国における共生とスーフィズムのイメージ」</p>

## 成果公開

### 図書

TONAGA Yasushi (ed.), *Bibliography of Sufism, Tariqa, and Saint Cult Studies in Japan*, Kyoto Kenan Rifai Sufi Studies Series 1, Kyoto: Kyoto Kenan Rifai Sufi Studies, 2016.

(東長靖(編)『日本におけるスーフィズム・タリーカ・聖者信仰研究文献目録』ケナン・リファアー  
イー・スーフィズム研究センター、2016年)

**Table of Contents**

Bibliography of Sufism, Tariqa, and Saint Cult Studies in Japan: Foreword	v
日本におけるスーフィズム・タリーカ・聖者信仰研究文献目録 序文	vii
Explanatory Notes	ix
凡例	xi
Graphs	xiii
Bibliography of Sufism, Tariqa, and Saint Cult Studies in Japan	1-124
1. Sufism スーフィズム	1
[a. general]	1
[b. theory]	10
[c. ceremonies]	18
[d. Sufi literature]	19
[e. pre-modern]	28
[f. modern]	57
2. Tariqa タリーカ	61
[a. general]	61
[b. theory]	65
[c. ceremonies]	66
[d. training lodges]	67
[e. pre-modern]	67
[f. modern]	71
[g. others]	82
3. Saint Cults 聖者信仰	83
[a. general]	83
[b. theory]	89
[c. ceremonies]	90
[d. holy sites (including saints' mausoleums)]	94
[e. pre-modern]	100
[f. modern]	106
4. Sayyid-Sharif	117
[a. general]	117
[b. theory]	118
[c. ceremonies]	118
[d. holy sites (including sayyid-sharifs')]	118
[e. pre-modern]	119
[f. modern]	120
Index: Authors and Translators	125



TONAGA Yasushi (ed.), *The Bridge of Cultures: Potentiality of Sufism*, Kyoto Kenan Rifai Sufi Studies Series 2, Kyoto: Kenan Rifai Center for Sufi Studies, 2017.

Table of Contents

Editor's Note (TONAGA Yasushi) ..... iv

**PART I**

The Place of Tasawwuf in Islamic Thought through Definitions of Tasawwuf (Osman Nuri Küçük) ..... 3

Relationship between God and People in the Three-Axis Framework of Sufism: A Comparison to Japan's Traditional Religion, Shintō (AKAHORI Masayuki) ..... 31

Good and Evil according to Sufism and Pure Land Buddhism (TONAGA Yasushi) ..... 41

**PART II**

Ibn 'Arabī on the Perfect Man (al-insān al-kāmil) as Spiritual Authority: Caliph, Imam, and Saint (SAWAI Makoto) ..... 49

The Beautiful Human Being as the Mirror of God: The Cases of Iranian Sufism (INOUE Kie) ..... 61

Ibrahim al-Kūrānī's Explanation of Waḥda al-wujūd: A Case Study of Indonesian Walī and the Shaḥḥ Dispute (YAMAMOTO Naoki) ..... 73

The Sufi Ritual of Transmission: Some Examples from the Akhi Movement (Quentin Giroud) ..... 83

Legitimacy and Femininity in Spiritual Authority within Contemporary Mevleviye: The Case of Hayat Nur Artıran (Ayşe Akyürek) ..... 93

TONAGA Yasushi & FUJII Chiaki (eds.), *Islamic Studies and the Study of Sufism in Academia: Rethinking Methodologies*, Kyoto Kenan Rifai Sufi Studies Series 3, Kyoto: Kenan Rifai Center for Sufi Studies, 2018.

Table of Contents

Editor's Note (TONAGA Yasushi and FUJII Chiaki) ..... vi

**Chapter 1: Methodology**

The General Propensity of Islamic and Sufi Studies in Japan (TONAGA Yasushi) ..... 3

Proto-Orientalist Concepts of Sufism (Carl W. ERNST) ..... 23

Teaching Sufi Studies in Undergraduate Settings: Religious Studies in Liberal Arts Colleges (James W. MORRIS) ..... 39

Sayyido-Sharifology: Personal and Collective Endeavors to Define a New Research Field (MORIMOTO Kazuo) ..... 47

Searching for New Horizons in Sufi Studies' Methodology in Turkey (F. Cangüzel Güner ZÜLFİKAR) ..... 55

**Chapter 2: Metaphysics**

Reading the History of Sufism: From the View of the Classification of Sciences (Ahmet Murat ÖZEL) ..... 65

Sufism between *Adab* (protocol) and *Hayrat* (perplexity) (Bruce B. LAWRENCE) ..... 73

Creating Islamic Context in Travel and Tourism: Philosophy and Sensibility in the *Adab* Literature Regarding *Safar* Tradition (YASUDA Shin) ..... 87

Moses and the Religion of Love: Thoughts on Methodology in the Study of Sufism (William C. CHITTICK) ..... 101  
 Warnings Derived from the Creation of Adam in Rumi’s *Masnavi* (Emine YENİTERZİ) ..... 119

**Chapter 3: History**

The Genealogy of the Wali Songo and Hadrami Sayyids: A Comparison of Genealogical Charts (ARAI Kazuhiro) ..... 139  
 Ma Dexin and Ibn ‘Arabī’s Prospects Regarding the Afterlife: A Chinese Expression of Sufism during the 19th Century (NAKANISHI Tatsuya) ..... 151  
 Sufism in Chinese (Sachiko MURATA) ..... 171  
 Concepts of Tariqa Affiliation and Membership of Tariqa: The Case of Medieval India (NINOMIYA Ayako) ..... 179  
 The Limits of the Oneness of Existence as a Medium in Translating Indic Deities’ Names: The Case of Muḥammad Šāhābādī’s Persian Translation of the *Rājatarangīnīs* (OGURA Satoshi) ..... 189  
 Sufism between Politics and Spirituality: Shaykh Aḥmad Kuftārū and Syrian Ba‘th (TAKAO Kenichiro) ..... 203

**Chapter 4: Anthropology**

Sufi-Orders and Tarikās in Bengal: A Case Study of Religious Practices at the Shāh Ālī Majār in Dhaka, Bangladesh (TOGAWA Masahiko) ..... 217  
 Islam and the Self-Representation of Punjabi Muslims in Pakistan: A Case Study of the Exhibition of Holy Relics in the Badshahi Masjid, Lahore (KOMAKI Sachiyo) ..... 243  
 Interpreting the Relationship between People, Society, and Allāh in Contemporary Sudanese Sufi Tariqas (MARUYAMA Daisuke) ..... 263  
 The Role of Spirits: The Case of the East African Coast (FUJII Chiaki) ..... 279

**Chapter 5: Literature**

Gastronomy and Hierogamy in 17th Century Deccan: Gulshan-e-‘Išq, “Flower Garden of Love” by Nuṣratī, the Poet of Dakanī Urdu (KITADA Makoto) ..... 293  
 Dual Trends of Urdu and Punjabi Prosody: A Study of *Qawwali* in South Asia (YAMANE So) ..... 323  
 The View of Language of the Khurāsān School of Mysticism, Taṣawwuf-i Khurāsān: An Essay Considering the Basic Structure of Mystical Discourse from the Perspective of “Unutterable Language” (*Kalām nafsī*) (FUJII Morio) ..... 331  
 Female Saints in Islam (miriam cooke) ..... 353  
 Naguib Mahfouz’s “Socialistic Sufism”: A Muslim Intellectual’s Search for the Ideal Society (YAGI Kumiko) ..... 363

TONAGA Yasushi & FUJII Chiaki (eds.), *Debate, Dialogue and Diversity in Sufism*, Kyoto Kenan Rifai Sufi Studies Series 4, Kyoto: Kenan Rifai Center for Sufi Studies, 2021.

**Table of Contents**

Editors’ Note (TONAGA Yasushi and FUJII Chiaki) ..... iv

**Part One: From Debate to Dialogue**

Abū ‘Abd al-Rahmān al-Sulamī (d. 1021) and his Treatise against Islamic Theologians (al-Radd ‘alā ahl al-kalām): Arabic Text Edition with English Translation and Introduction (Mohammed SOORI and Ahmed ZILDZIC) .....	3
Development in and Debates on the Fanā’ Theory of Sufism (TONAGA Yasushi) .....	19
Neo-Sufism, Pax Islamica and the Mahdiya of the Sudan (Mohammed MOUSSA) .....	27
Sufism and Modernism: Muḥammad ‘Abduh’s Reformist Thought (SAWAI Makoto) .....	43
The Thought of Coexistence on Tariqas on East African Coast (FUJII Chiaki) .....	57
<b>Part Two: Diversity in Dialogue</b>	
Studies on Saint Worship in Medieval Maghreb Society: Historical Review and Perspectives (KISAICHI Masatoshi) .....	69
Three Ways to Make Sense of Sufi Miracles (Shahzad BASHIR) .....	89
The Method of Guidance on the Sufi Path of Shams-i Tabrīzī (INOUE Kie) .....	103
Transmission of Religious Knowledge in Manuscripts from the Hijāz to Northwest China: Ma Laichi Abū al-Futūḥ al-Šīnī and his Huasi Menhuan Sufi Order (Florian SOBIEROJ) .....	115
The Discourse of Sufism in Twentieth-Century Sudan: A Preliminary Analysis of al-Ṭarīqa al-Sammānīya’s Literature (MARUYAMA Daisuke) .....	157
Consummating Sainthood: Death, Desire and Sainthood Power in the Indo-Muslim Rituals of the ‘Urs (Spiritual Wedding) (Nile GREEN) .....	171

## 学術誌特集

### 『イスラーム世界研究』15巻(2022年3月)

#### 小特集「スーフィズム・タリーカ・聖者信仰複合現象の解明に向けて」

はじめに(東長靖) .....	119
「イスラーム聖者信仰研究とその周辺——四つの対比から——」(赤堀雅幸) .....	138
「タリーカ研究の課題と方向性——実践コミュニティから見るスーフィズムと集団——」(丸山大介) .....	149
「スーフィズム理解の模索と展望——三極構造論と四象限論——」(東長靖) .....	163